



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 エスライン  
 コード番号 9078 URL <http://sline.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 白木 武

TEL 058- 245- 3131

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	36,108	3.6	1,170	36.1	1,273	37.5	842	64.9
2020年3月期第3四半期	37,461	0.1	859	45.7	926	43.4	510	38.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,036百万円 (94.1%) 2020年3月期第3四半期 534百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	77.66	
2020年3月期第3四半期	46.55	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,307	24,659	61.2
2020年3月期	40,597	23,821	58.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 24,659百万円 2020年3月期 23,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.00		10.00	18.00
2021年3月期		8.00			
2021年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,550	5.0	1,100	12.9	1,200	13.4	720	76.9	66.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	11,095,203 株	2020年3月期	11,095,203 株
2021年3月期3Q	253,670 株	2020年3月期	253,442 株
2021年3月期3Q	10,841,644 株	2020年3月期3Q	10,965,072 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

期末自己株式数には取締役に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」および当社の一部のグループ会社社員対象の株式給付制度「株式給付信託(J-ESOP)」のために設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2021年3月期3Q 135,400株、2020年3月期 135,400株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。(2021年3月期3Q 135,400株、2020年3月期3Q 62,401株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、企業収益は大幅に減少し、雇用環境の悪化や設備投資の減少等の動きが続きました。一方で、停滞していた経済活動が再開したことに伴い、個人消費や企業の生産活動に一部改善の兆しもありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の影響等もあり、国内外経済の回復に向けた動きは見られず、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、国内外の人の動きや物流が大きく制限されたため、個人の消費活動がさらに冷え込み、貨物輸送量の減少傾向が続く等、回復の兆しが見えない深刻な状況となっております。加えて、労働時間に関する規制の適用開始により作業時間が減少したことによる雇用環境への対応等の課題も多くあり、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、2年目となります中期経営計画（スローガン：「“エスラインブランドの価値向上” Think next Value」）の経営目標達成と企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益361億8百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益11億70百万円（前年同期比36.1%増）、経常利益12億73百万円（前年同期比37.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億42百万円（前年同期比64.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等があります。主なサービス部門として「輸送サービス」「物流サービス」「ホームサービス」があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外からの輸入貨物や、国内貨物輸送量が減少する等、取扱い貨物量は減少を続けております。さらには、「緊急事態宣言」の発出により外出や行動範囲も一部制限されたことにより、適正運賃収受に向けた運賃改定交渉や新規営業案件獲得への営業活動が進まなかったこともあり、減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスクや消毒液、防護服の検品・加工業務や、巣ごもり消費が継続して増加していることにより、菓子類や家庭内で使用する日用雑貨品の保管・配送業務が増加いたしました。また、当第3四半期においては、大手衣料品量販店での部屋着や寝具といった巣ごもり消費関連商品の需要回復を受け、加工業務に持ち直しの動きが見られたことにより、物流サービス部門全体では増収となりました。

大型貨物の個人宅配を行うホームサービス部門では、従来からお取り引きのあった家電量販店の配送受託エリア拡大による増収に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う生活環境の変化により、当第3四半期においても引き続き、エアコンや冷蔵庫を中心とした白物家電等の配送および設置業務が大幅に増加し、増収となりました。

以上の結果、物流サービス、ホームサービスの両部門は増収となりましたが、主力サービス部門である輸送サービス部門における減収が大きく影響し、物流関連事業全体では減収となりました。

一方、利益面では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により貨物輸送量の減少に加え、今期から取り組んでいる運行コースの再編による運行効率の改善や、土曜日・休日における集配作業の見直しを行い、自社社員での内製化を強力に進めたことにより、備車費や外部委託費が大幅に減少いたしました。また、軽油単価が比較的安価で推移したことにより燃料費の減少もあり、営業利益は大幅な増益となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は355億37百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は13億75百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。昨年3月に㈱エスラインギフが外部に賃貸しておりました東京都江東区の土地および建物を売却したことにより賃料収入が減少いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は3億37百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益（営業利益）は1億75百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、遠出や外部との交流が制限されたため、岐阜市近郊の大学および高校のスクールバス等の定期運行以外のクラブ・サークル活動等の遠征や冠婚葬祭時の送迎等、バス利用が大幅に減少し、減収となりましたが、燃料費の減少や配車の効率化による経費削減効果もあり、費用は大幅に減少いたしました。

また、売電事業におきましては、㈱エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび㈱スリーエス物流の本社第1センターの計6か所で発電を行っております。(総発電量1,333.96kW)

この結果、その他事業の営業収益は2億34百万円(前年同期比9.5%減)、セグメント利益(営業利益)は56百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結資産合計は403億7百万円となり、前連結会計年度末比2億89百万円減少しております。この主な要因は、有形固定資産が増加したものの、現金及び預金の減少があり、連結資産合計では減少となりました。

また、連結負債合計は156億47百万円となり、前連結会計年度末比11億28百万円減少しております。この主な要因は、借入金の返済によるものであります。

連結純資産合計は246億59百万円となり、前連結会計年度末比8億38百万円増加しております。この主な要因は、利益剰余金の増加とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の経済動向を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日に公表した内容から変更しております。

詳細につきましては、本日別途公開しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,298	4,084
受取手形及び営業未収入金	5,665	6,101
貯蔵品	77	70
その他	633	798
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,674	11,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,541	11,385
機械装置及び運搬具（純額）	2,676	2,490
土地	10,860	11,147
リース資産（純額）	120	90
建設仮勘定	1,222	1,320
その他（純額）	170	193
有形固定資産合計	24,592	26,629
無形固定資産	114	114
投資その他の資産		
投資有価証券	1,242	1,480
退職給付に係る資産	50	47
繰延税金資産	145	145
その他	787	845
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,215	2,509
固定資産合計	26,922	29,253
資産合計	40,597	40,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,035	5,237
短期借入金	320	230
1年内返済予定の長期借入金	1,258	1,535
未払法人税等	334	167
賞与引当金	464	153
役員賞与引当金	17	16
設備関係支払手形	0	1
その他	1,507	1,527
流動負債合計	8,937	8,870
固定負債		
長期借入金	1,803	573
繰延税金負債	2,538	2,624
役員退職慰労引当金	75	78
株式給付引当金	—	16
役員株式給付引当金	33	46
退職給付に係る負債	2,567	2,532
資産除去債務	502	610
その他	316	294
固定負債合計	7,838	6,777
負債合計	16,776	15,647
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,237	2,237
資本剰余金	2,959	2,959
利益剰余金	18,578	19,222
自己株式	△255	△255
株主資本合計	23,519	24,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297	462
繰延ヘッジ損益	—	19
退職給付に係る調整累計額	4	13
その他の包括利益累計額合計	301	496
純資産合計	23,821	24,659
負債純資産合計	40,597	40,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	37,461	36,108
営業原価	35,318	33,728
営業総利益	2,142	2,380
販売費及び一般管理費	1,282	1,210
営業利益	859	1,170
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	26	26
受取賃貸料	20	19
助成金収入	8	41
持分法による投資利益	—	8
その他	31	28
営業外収益合計	88	124
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	2	2
債権売却損	12	12
持分法による投資損失	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	21	20
経常利益	926	1,273
特別利益		
固定資産売却益	26	28
投資有価証券売却益	—	3
その他	0	—
特別利益合計	26	31
特別損失		
固定資産除売却損	138	28
減損損失	8	—
特別損失合計	146	28
税金等調整前四半期純利益	806	1,277
法人税等	295	435
四半期純利益	510	842
親会社株主に帰属する四半期純利益	510	842

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	510	842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	165
繰延ヘッジ損益	—	19
退職給付に係る調整額	10	9
その他の包括利益合計	23	194
四半期包括利益	534	1,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	1,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「追加情報」に記載した「新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	36,828	374	37,202	258	37,461	—	37,461
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,828	374	37,202	258	37,461	—	37,461
セグメント利益	1,102	179	1,281	49	1,331	△471	859

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△471百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	35,537	337	35,874	234	36,108	—	36,108
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,537	337	35,874	234	36,108	—	36,108
セグメント利益	1,375	175	1,550	56	1,607	△436	1,170

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅客自動車運送事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△436百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。